

エボニック、クリスチャン・クルマン CEO の契約延長を決定

2021 年 6 月 4 日

- ・ エボニックは戦略的重点分野を再確認
- ・ 近年実施した施策が功を奏す
- ・ サステナビリティが成長の原動力

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン)の監査役会は、2017 年 5 月から取締役会会長(CEO)を務めるクリスチャン・クルマン(Christian Kullmann)との契約を 2027 年 5 月まで延長することを決定しました。引き続き、クルマンが今後 5 年にわたってエボニックを率いることとなります。

監査役会会長 ベルト・テニェス(Bernd Tönjes)は、「クリスチャン・クルマンは、取締役会会長として、優れたリーダーシップを発揮しました。エボニックを伸張させる上で彼は重要な役割を果たし、困難な時期もうまく軌道修正しました。したがって、監査役会は、クリスチャン・クルマンがこれまでの戦略を継続することが、当社にとって重要かつ適切であると判断しました」と述べています。

クルマンは、監査役会の決定に感謝するとともに、収益性を高めるための成長戦略を新たに発表しました。その達成には、サステナビリティが極めて重要な役割を果たします。「高い収益性と持続的な成長を達成することは、非常に難しい。しかし、私たちはベスト・イン・クラスのスペシャルティケミカルカンパニーを目指しており、お客様も期待を寄せてくださっています。お客様が自社のサステナビリティ目標を達成するために、当社のソリューションを選択することも増えてきています」と、クルマンは述べています。

さらに、クルマンは、ベスト・イン・クラスのスペシャルティケミカルカンパニーへの変革を、100 メートル走に例え、「私たちはちょうど 50 メートル地点に到達したところです」と表現しています。これまでの過程で、危機に対するエボニックの対応力も強化され、新型コロナウイルスのパンデミックにおいても、その力が発揮されました。現在の目標は、パフォーマンス重視のカルチャーをさらに確立し、持続可能性に優れた成長事業に注力することです。

今後数年間でポートフォリオを最適化するための新たな戦略を発表し、「特に当社の 3 つの成長部門に投資を行い、革新的な能力を結集させ新製品の開発に注力していきます」とコメントしています。

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100か国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2020年度は、122億ユーロの売上、19.1億ユーロの営業利益(調整後EBITDA)を計上しました。

革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、33,000人以上の社員が働いています。

アジア・パシフィック・リージョンについて

エボニックは、世界経済を牽引し、イノベーションの宝庫であるアジア・パシフィック・リージョンで更なるビジネスの成長を目指しています。2020年度は、28.7億ユーロの売上を計上し、50以上の製造拠点で5,000人以上の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2021年6月2日にドイツで発表されたものを翻訳しています。)